

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(職員)	コード	作成者	役職	森脇 博
		06-01-15	氏名	電話	64-1807

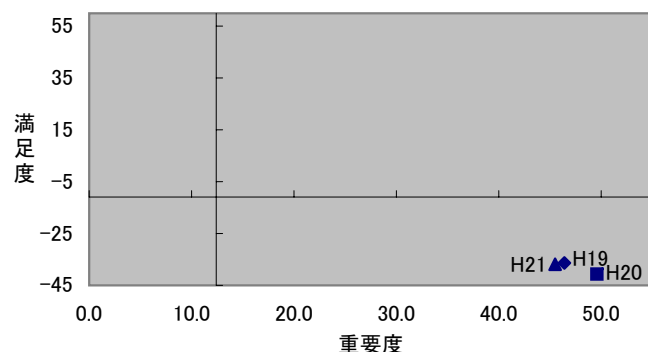
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	地方公務員法第42条に基づき職員の福利厚生を図り、職務における能力を最大限に発揮できるようにする。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市町村合併や社会情勢の変化や、地方自治を取り巻く状況の変化から職員にかかる負担が重なり、そのストレスから、健康を害する職員が増大している。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 職員健康診断 メンタルヘルス 体育大会などの保健事業 職員衛生委員会の充実

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	46.4	49.6	45.5	
満足度(%)	-36.4	-40.7	-36.8	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p> <p><維持領域> 現状の方向を継続</p>	平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p> <p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>	低 ← 重要度 → 高
-------------------------	---	----	---	-------------

調査結果に対するコメント、市民の反応等	行財政改革に対する市民の意見は厳しく、その改革を効果的に進めるとともに、経過の公表が必要である
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 健康診断の受診率	目標	%	100.0	100.0	100.0	H21	100.0
	実績	%	99.0	99.9	99.9	H23	100.0
	達成率	%	99.0	99.9	99.9	H28	100.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 休職者の率	目標	%	1.0	1.0	1.0	H21	1.0
	実績	%	1.1	0.3	0.3	H23	1.0
	達成率	%	110.0	30.0	30.0	H28	1.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 保健事業の参加者数	目標	%	227	223	216	H21	30
	実績	%	158	162	160	H23	30
	達成率	%	69.6	72.6	74.1	H28	30
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 福利厚生事業	B	表彰事務事業	内部管理	955	240	0.05	105	0	0.00	0	76	0.01	☆☆☆	その他	0
		厚生費補助事務事業	内部管理	2,020	2,530	0.40	1,927	75	0.01	1,558	263	0.03	☆☆☆	その他	2,240
		健康相談事務事業	内部管理	180	920	0.10	180	185	0.02	180	601	0.07	☆☆☆☆	その他	180
		健康診断委託事務事業	内部管理	2,029	1,490	0.25	2,037	299	0.04	1,995	228	0.03	☆☆☆	その他	2,324
2 特別職報酬等審議会事務事業	D	特別職報酬等審議会事務事業	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	計画事業	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度	平成19年度	平成20年度							計		
				5,184	5,180	0.80	4,249	559	0.07	3,733	1,168	0.14			4,744

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	メンタルヘルスへの対応は充分とは言えない。また病气休職者のスムーズな復帰への対応を検討する必要がある。	4	衛生委員会、健康相談等、事業は整ってきたが内容についてもう少し充実させる必要がある。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	心身の健康相談事業についての効果を検証し、次のステップについて検討が必要である	3	今の事業構成で進めてください。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	4	健康診査の受診率がほぼ100%である	4	休職者が減少しており、効果が見える。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	職員のメタボリックシンドローム対策に取り組み、心身の健康相談事業について検証を行う必要がある		数値は良くなっており、施策は有効に機能していると思えるが、内容を濃くして今後一層の充実を望みます。	
二次評価者コメント	職員が健康であることは、仕事の効率も上がり、質の高い住民サービスの提供に繋がる。今後、事務の効率化を進めるうえでも健康管理は大切である。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 総務部長 氏名 馬場 鉄二			4やや高い	平均的な配分